



## 湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

### ～発行者からのお知らせ～

23年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出しています。

### ★この授業で参照した情報★

今知っておきたい  
「デジタル化×SDGs」  
17 項目別の具体例  
(Markefan 株式会社)



スタイル プロモーション  
公式サイト



# 湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2025 年度 第 9 号

(通算第 35 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

## 【授業紹介】

### ファッション業界・美容業界の「デジタル化×SDGs」を考える

(2025 年 12 月 12 日)

「ファッション文化論」(リベラルアーツ科目、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科 1、2 年生 後期選択科目) では、ファッションビジネスに導入されているデジタル化についても学びました。

IT が SDGs17 項目とどのように関与しているのか各自で調べる授業です。今回は IT 企業の Markefan 株式会社(東京都品川区)が発信するコラム「今知っておきたい「デジタル化×SDGs」17 項目別の具体例」をもとに、学生の体験を踏まえた実例が多様に示されましたので、以下に紹介します。



◆「IT 化によって需要予測や生産・在庫管理が正確になり、服やコスメの作りすぎを防ぐことで資源の無駄を減らすことができます。生産者の負担も減り、効率も上がるためとても良い取り組みだと感じました。」(G)

◆「SDGs12「つくる責任、つかう責任」と SDGs14・15

「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」に、EPSON のデジタル捺染機「Monna Lisa」があります。素材に繊細な柄や模様を高精度に印刷できるファッション業界に必要不可欠な技術です。アナログ染色と比較して水の使用量を約 96%削減できる点、オンデマンドで必要な分だけ生地をプリントするためゴミを最小限に抑えられる点が大きな特徴です。」(S)

◆「私が体験したのは ZOZOTOWN です。IT 活用で購入アイテムを下取りし、欲しい服をその場で割引価格で購入できるサービスです。新品の服を下取りすることで安く購入でき、無駄にならない方法といえます。」(N)

◆「自分に合うメイクがわからなかった時にメイク診断など AI を使ったアプリで分析することで自分に合うメイクやカラーがわかりました。IT 技術のおかげでメイク選びの不安が減り、楽しく学校生活を送れるようになりました。」(K)

※写真協力：スタイル プロモーション(公式サイトは左記の二次元コードから)

(リベラルアーツセンター 非常勤講師 小島由記子)

## 【学友会 福祉委員会の取り組み】

厚木市より「厚木市まち美化パートナー」として表彰されました！（2026年1月31日）

2026年1月31日、福祉委員会の地域清掃活動「クリーンキャンペーン」に対し、厚木市より「厚木市まち美化パートナー」として表彰状をいただきました。この活動に対して表彰していただけたことは、学生たちにとっても大きな励みになります。今後も地域の美化に貢献してまいります。

【湘北のクリーンキャンペーンとは】1999年から続く、本厚木駅から大学までの通学路を清掃するボランティア活動です。学生や教職員が気軽に参加できる地域貢献イベントとして、5月と11月の年2回実施しています。

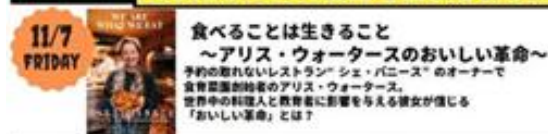


厚木市まち美化パートナー制度



（福祉委員会顧問 教務・学生部 高橋博子）

## 【大学の取り組み】今年も実施！SDGs 映画鑑賞会（2025年11月～12月）



本学リベラルアーツセンターでは、今年も秋のSDGs映画鑑賞会を開催しました。今年のラインナップは左記の3本。学生はもちろんのこと、教職員の積極的な参加を呼びかけました。リベラルアーツセンターメンバー手作りのオリジナルポスターやタペストリーを学内に掲示したほか、学内放送や授業でも呼びかけを行い、金曜日の昼休みから3限にかけての時間帯に開催しました。実施後のアンケートでは、教職員から以下のような感想が寄せられました。

■ 食べることは生きること～アリス・ウォータースのおいしい革命～  
・イタリア発祥の「スローフード」に関心を持っていて情報を得ており、この映画で発しているメッセージには全面的に賛同します。「身体は食べたものでできている」という当たり前のこと、環境への影響を意識して食と向き合うこと。とても大事なメッセージを発し、人生観にも影響を与えるほどの内容の映画なので、ぜひ学生にも見てもらいたいです。（T）

■ ミッション・ジョイ～困難な時に幸せを見出す方法  
・ドラマの生涯、経歴、チベットの歴史、現状なのは既知の情報だったが、氏の生の声で利他の心を詳述していることが印象に残った。また、瞑想を習慣化している僧侶と一般人とでは、刺激・脅威に対して脳波の反応が全く違うこととそれを科学的に数値化できることが印象深かった。（T）

リベラルアーツセンターでは、授業科目の運営だけでなく、授業外でも学生の「利他の精神の醸成」や「Well-being 向上」に関わる取り組みを今後も検討していきます。学生の皆さんにはぜひ、最後の学びの場となる湘北短期大学に在籍している間に色々な価値観に触れ、ここで広げた視野を糧に、社会に羽ばたいてほしいと思います。

（リベラルアーツセンター 菅野美絵子、築瀬千詠）